

サイエンスディベート、科学政策に関する質問の連邦議会委員会主要メンバーからの回答を公表（10月24日）

科学団体が共同で運営している非営利団体のサイエンスディベート（Science Debate）は、科学政策決定に関わる連邦議会委員会主要メンバー33人に対して科学と科学政策に関する質問を提示し、得られた回答を公表した。

提示された質問は、①イノベーションと経済、②気候変動、③研究とその将来、④教育、⑤エネルギー、⑥新鮮な水、⑦インターネット、⑧公共政策における科学の8項目で、質問に対する回答を提出した議員は9人、その他は未回答18人、回答辞退6人となっている。

回答が得られた議員の全員が、技術的イノベーションの引き金及び経済成長の原動力として科学研究の重要性を強調し、研究助成は今後も政府の優先事項とされるべきとする一方、民主党と共和党の議員間での科学政策に関する意見の相違や、科学政策に関して無知・無関心な議員に対する懸念も見られた。

なお、33人の連邦議会委員会主要メンバー一覧とその回答状況は、  
<<http://www.sciencedebate.org/congress12/>>にて閲覧可能。

Science Insider, What They Think: Congressional Leaders Weigh-In on Science

<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2012/10/what-they-think-congressional.html>